

2023年3月31日

岡山市 SIB を活用した生涯活躍就労支援事業
成果報告書
(概要版)

武蔵大学 粉川一郎

・本報告書の対象とする期間

本報告書は SIB を活用した生涯活躍就労支援事業の成果報告書である。2022 年度及びこれまでの 3 年間（2019~2021 年度）の事業実績等を踏まえて評価を行う。なお、2022 年度の評価対象期間は 2022 年 4 月から 2023 年 1 月までの 10 か月間である。

・新型コロナウイルス感染拡大に伴う目標値修正

本事業では 2019 年度に設定したコロナ禍の影響を考慮した目標値の修正方針に基づいて、下記のような目標値修正を実施した。

表 1. 有効求人倍率の比較（岡山管内）

有効求人倍率の比較（岡山管内）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	平均
令和4年度	1.41	1.37	1.45	1.55	1.56	1.57	1.62	1.78	1.87	1.9	1.61
令和3年度（参考）	1.32	1.32	1.37	1.39	1.34	1.34	1.34	1.49	1.54	1.67	1.41
令和2年度（参考）	1.92	1.55	1.43	1.42	1.45	1.44	1.47	1.54	1.59	1.62	1.54
令和元年度	2.14	2.04	2.06	2.1	2.16	2.19	2.27	2.32	2.43	2.38	2.21
										令和4年度：令和元年度	0.73
参照データ：岡山市産業勧告局商工部産業振興・雇用推進課雇用推進室「有効求人倍率の推移」										割引率	73%

表 2. 修正目標

コロナ修正後の目標値		
成果指標	22年度4月から1月までの目標	22年度コロナ禍修正目標
新規利用登録者数	203	203
就労者数（全体）	64	47
就労者数（個別）	21	15
企業登録数	48	35
就労率（全体）	33%	24%
就労率（個別）	40%	29%
定着率（全体）	50%	50%
定着率（個別）	50%	50%
定着率（後期）	30%	30%

本報告書ではこれらの数値を用いて、期末成果報告を行う。

・本報告書の結論

2022 年度に実施した SIB を活用した生涯活躍就労支援事業については、期末成果報告の時点である 2023 年 1 月末時点において、新規利用登録者数に関しては目標が未達であったものの、それ以外の点についてはきわめて高い事業パフォーマンスを発揮していたといえる。以下が目標値に対する事業成果の達成状況である。

表 3. 2022 年度の達成状況 1

		繰越	累計	コロナ補正後目標値	達成率%	繰越+
			4月～1月 (繰越除く)	4月～1月 通算値	4月～1月 通算実績	4月～3月 想定値
利用者数	新規利用者登録数	132	171	203	84.2%	337
就労者数 (離職の有無に関わらず就労実績が有る者)	前期高齢者等	60	104	47	221.3%	187
	岡山市社会福祉協議会	24	49	—	—	77
	パソナ	21	32	15	213.3%	59
	グロップ	15	23	15	153.3%	51
	後期高齢者	1	5	—	—	6
定着者数 (定着支援終了者)	前期高齢者等		103	—	—	103
	岡山市社会福祉協議会		47	—	—	47
	パソナ		30	—	—	30
	グロップ		26	—	—	26
	後期高齢者		4	—	—	4
企業	企業登録数	325	44	35	125.7%	314
その他	ボランティアセンターと連携した件数		691	—	—	691

赤字はコロナ修正後の数値

表 4. 2022 年度の達成状況 2

		2022年度	達成率%	コロナ補正後目標値
		4月～1月 実績 (%)	4月～1月 通算実績	4月～1月 通算実績 (%)
就労率	前期高齢者等	39.7	165.4%	24
	岡山市社会福祉協議会	31.8	—	—
	パソナ	54.2	186.9%	29
	グロップ	46.9	161.7%	29
	後期高齢者	27.8	—	—
定着率	前期高齢者等	87.5	175.0%	50
	岡山市社会福祉協議会	84.8	—	—
	パソナ	89.5	179.0%	50
	グロップ	89.3	178.6%	50
	後期高齢者	100.0	333.3%	30

赤字はコロナ修正後の数値

表 3 および表 4 の達成率の部分は 100%以上の達成率の部分はブルー、100%未満の達成率の部分をイエローでハイライトしてある。この表からもからわかるように、新規利用登録者数を除きすべての項目で 100%以上の目標を達成している。このことから 2022 年度の本事業も 2021 年度に引き続き、新規登録者数という観点以外については非常に高い水準で事業実施が行われたといえる。

・2022年度の数値目標総括

2021年度に引き続きコロナ禍の影響が残る1年間であった。そうした中、就労者数、就労率、定着者数全てにおいて高いレベルの実績が出ていたことは大変好ましい。新規利用登録者数が伸び悩んだものの、事業の区切りの年であったことを考えればやむを得ないこととも評価できる。

こうした成果は、各支援機関の努力、特に参加者への丁寧な対応やアフターフォローから生じているものと推察される。企業とも良好なコミュニケーションが取れていることも後述する企業向けアンケートやヒアリングからも確認できた。3年間を通じて、本事業に参画する支援機関のパフォーマンスは対利用者、対企業ともに高いものがあったと言って良い。

・成果連動支払いについて

令和2年度から令和4年度の成果連動支払いにかかわる結果については下記の通りとなり、全体の新規利用者登録数を除くすべての成果連動支払いの評価項目について120%以上の達成が確認された。

表5. 令和2年度から令和4年度の成果連動支払いにかかわる結果

		R2	R3	R4	R2～R4 の平均達成率	評価
新規利用者登録数	目標値	249人	237人	203人		
	実績値	265人	241人	171人		
	達成率	106.4%	101.7%	84.2%	97.4%	80%達成
就労数	目標値	53人	56人	47人		
	実績値	124人	140人	104人		
	達成率	234.0%	250.0%	221.3%	235.1%	120%達成
定着率	目標値	50%	50%	50%		
	実績値	80.6%	89.1%	87.5%		
	達成率	161.2%	178.2%	175.0%	171.5%	120%達成
企業登録数	目標値	50社	46社	35社		
	実績値	135社	101社	44社		
	達成率	270.0%	219.6%	125.7%	205.1%	120%達成
パソナ就労数	目標値	20人	20人	15人		
	実績値	40人	48人	32人		
	達成率	200.0%	240.0%	213.3%	217.8%	120%達成
グループ就労数	目標値	20人	20人	15人		
	実績値	31人	36人	23人		
	達成率	155.0%	180.0%	153.3%	162.8%	120%達成
パソナ定着率	目標値	50%	50%	50%		
	実績値	84.6%	90.2%	89.5%		
	達成率	169.2%	180.4%	178.9%	176.2%	120%達成
グループ定着率	目標値	50%	50%	50%		
	実績値	80.0%	87.2%	89.3%		
	達成率	160.0%	174.4%	178.6%	171.0%	120%達成

・利用者に対するアンケート調査の結果

2022年度も昨年度までに引き続き、事業参加者が本事業を通じてどのような変化を見せているかを定性的な視点から把握することを目的としてアンケート調査を実施した。

本アンケートについては、233名に対して2023年2月に郵送法によって調査を実施し、138件の回答を得た。自由記述欄の分析においては、計量テキスト分析（テキストマイニング）を用いた分析を実施した。

アンケート結果の分析から、2022年度、本事業を経験することで、全体的に利用者の状態は心身ともにポジティブに変化していたと思われる。また昨年度に引き続き高い満足度を利用者に与えていることがわかった。その満足度の要因としては、就労支援機関の担当者の対応、コミュニケーションが大きいということも明らかになった。一方で、不満を抱えている利用者も一定程度存在し、不満な理由としては就職活動そのものが期待に沿わなかったという点と、求人情報の不足や高齢者就職に関する情報不足が挙げられていた。またこうした状態の変化や満足度には就労の有無が関連していることも分かった。

また、自由記述欄の分析からは、就労群がいきいきと就職活動を行い、就労を楽しんでいる様子がうかがえた。一方で非就労群は、必ずしもネガティブな記述が多いわけではなかった。

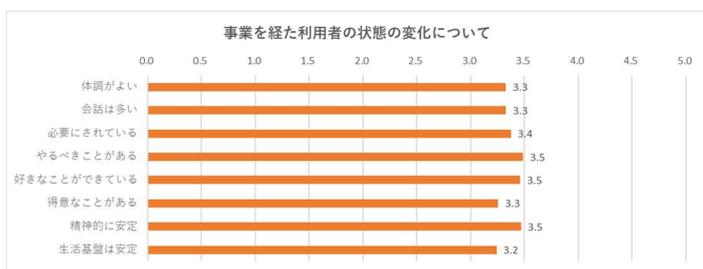


図1. 事業を経た利用者の状態の変化について N=137

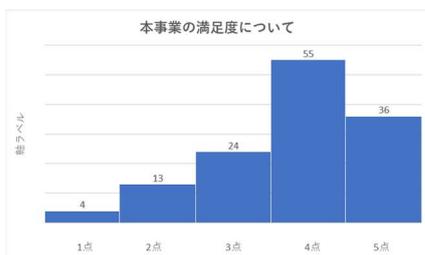


図2. 本事業の満足度 N=132

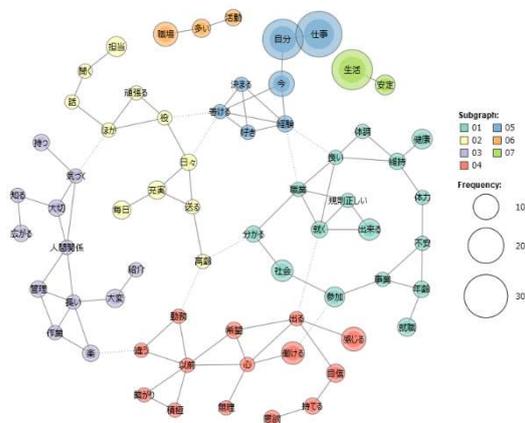


図3. 就労者の自由記述 共起ネットワーク分析 最小出現数3語

・利用者に対するヒアリング調査

今回、登録利用者に対して、事業参加の感想を調査するヒアリング調査を実施した。最終的なヒアリング対象者は8人である。

ヒアリング調査の結果からいくつかの注目すべきポイントを抽出した。

- ・仕事に対するニーズは人それぞれ
- ・仕事を通じて社会に貢献したいというニーズは根強い
- ・よりそい型の求職活動を求める層が多い
- ・生涯かつやく支援センター独自の情報へのニーズ

また、総じて利用者からはポジティブな感想の言が得られ、本事業や支援担当者への強い感謝の思いを示されることも多く、本事業の「よりそい型」の支援が大きく評価されていたことが明らかとなった。

・登録企業に関するアンケート調査

今回登録企業アンケート調査を実施した。登録企業 333 社に対して文書によるアンケート依頼状を発送し、GoogleForm による回答を得る方法で 32 件の回答を得た。

アンケート調査の結果から登録していた企業には高齢者就労に対して強い期待感があることが分かった。また、マッチングに成功した事例では本事業で就労した高齢者は高い満足度を企業に与えており、一方でマッチングに成功しない事例では、そもそも紹介できる人材がいなかったという mismatches が存在していることがわかる。また、今後の高齢者就労への意欲は回答企業のほとんどが示している。

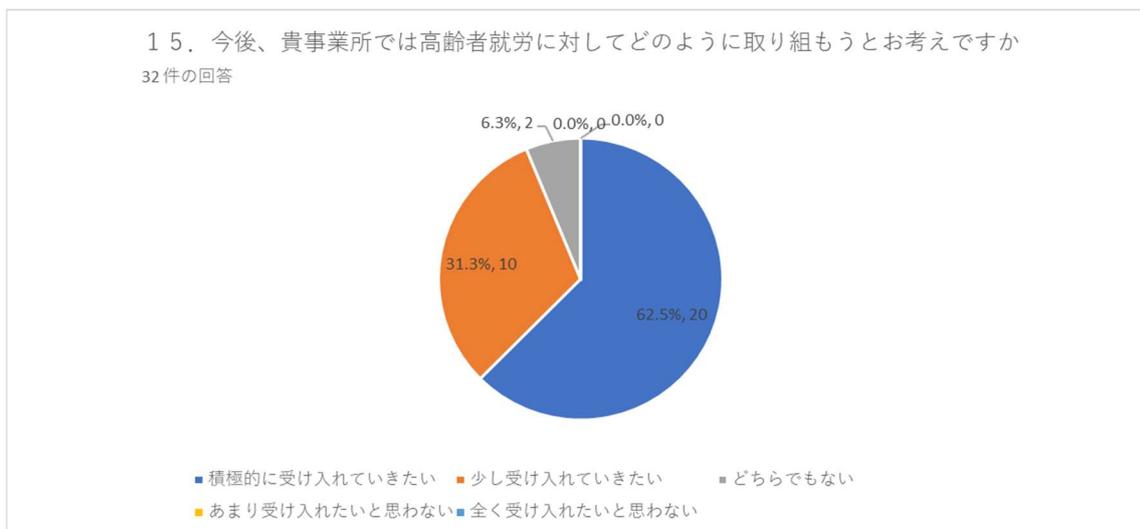


図4. 今後の高齢者就労に対する取り組み

・登録企業に関するヒアリング調査

ヒアリング調査については、本事業の民間支援機関であるパソナ社、グロップ社からそれぞれ1社ずつ協力企業を推薦いただき、対面もしくはzoomを用いた遠隔での1時間程度のヒアリング調査を実施した。

ヒアリング調査の結果から、いずれのケースも民間支援事業者の適切なアプローチ、マッチングが行われていたことが分かった。また、今回のヒアリング対象事業者はいずれも、本事業によるマッチング以前に社内でのダイバーシティインクルージョンの取り組みを強化していたことも明らかとなった。

・まとめ

冒頭で述べたように、2022年度も本事業は一部の数値目標の未達成はあったが、優れたパフォーマンスを昨年度に引き続き発揮した。3年間の事業全般で同様の傾向がいえ、全体として事業は成功したとすることができる。岡山市のシニア層に対して希望と勇気、そして喜びを提供した事業と言える。

こうした成功の理由としては3点を挙げる事ができる

- ・優れた本事業のスキーム
- ・支援機関の手厚い利用者に対する支援
- ・コンソーシアム全体での継続的な成果確認体制

一方、今後に向けての課題も3点挙げる事ができる。

- ・ 高齢者に特化した求人情報の提供
- ・ 事業そのものの PR
- ・ 高齢者受け入れに向けた企業向けプログラム

全体を通じて、今回の事業が、スキーム、実践、体制の3面で良好に機能し、岡山市の高齢者にとって非常に有益な事業となったことが確認された。他の地域に対してもモデルとなりうる事業だけに、今後も継続発展的な展開を期待したい。